

一般社団法人 日本生物物理学会
2021 (令和 3) 年度 事業報告
(2021 年 5 月 1 日～2022 年 4 月 30 日)

目次

1. 事業概要
2. 各事業詳細資料
 - 2-1. 学術誌・学術図書発行 (定款第四条第 1 号)
 - 2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催 (定款第四条第 2 号)
 - 2-3. 研究及び調査の推進・人材育成 (定款第四条第 3 号)
 - 2-4. 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰 (定款第四条第 4 号)
 - 2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第 5 号)
 - 2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第 6 号)
 - 2-7. 普及啓発活動
3. 付属明細
 - (付属明細 1) 処務詳細資料
 - ・総会・役員会等に関する事項
 - ・契約・入札・他に関する事項
 - (付属明細 2) 会員の異動状況
 - (付属明細 3) 事務局の現況 (2022 年 4 月 30 日現在)

1. 事業概要
主な活動は
 - 1) 学術誌・学術図書 (和文誌・欧文誌) の発行
 - 2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催
 - 3) 研究及び調査の推進・人材育成
 - 4) 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰
 - 5) 関連学術団体との連携及び協力
 - 6) 国際的な研究協力の推進
 - 7) 普及啓発活動
 - 8) その他である。以下にそれぞれを概説する。

1) 学術誌・学術図書（和文誌・欧文誌）の発行

和文誌『生物物理』第 61 巻 3 号～6 号、Supplement1-1（年会プログラム集）・1-2（年会予稿集：電子版のみ）、第 62 巻 1 号・2 号を刊行した。

欧文誌 Biophysics and Physicobiology Vol.18、Vol.19 を刊行した。

2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催

2-1) 第 59 回日本生物物理学会年会の開催

2021 年 11 月 25 日～2021 年 11 月 27 日、オンラインにて、第 59 回日本生物物理学会年会を開催した。参加者総数：1242 名、演題登録状況：一般演題 627 件（すべて口頭発表）、シンポジウム：162 件であった。

2-2) 会員総会シンポジウムの開催

学会年会において、会員総会シンポジウム「構造予測開闢」を開催した。

3) 研究及び調査の推進・人材育成

3-1) 学会年会において、男女共同参画・若手支援シンポジウム「働き方の多様性を考える～After コロナ時代に向けて」および、キャリア支援説明会を開催した。

3-2) 男女共同参画学協会連絡会に正式加盟学協会としての登録を継続し、定期開催される運営委員会に出席した。また、2021 年 10 月より、原田慶恵氏を委員長とし幹事学会を務めている。

3-3) サブグループ支援活動

小中規模のグループ活動やオンラインを含むミーティング開催等を支援することにより学会活動を更に盛り上げることを目的とし、8 件のサブグループの支援を行った。

4) 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰

学会年会において、若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞を授与した。

5) 関連学術団体との連携及び協力

生物科学学会連合定例会議に継続して出席した。

6) 国際的な研究協力の推進

学会のグローバル化を図るため、年会において海外とのジョイント・シンポジウムを 3 件（インド・オーストラリア・米国）開催した。

21st IUPAB International Biophysics Congress（2024 年）の主催に向け、国際関係委員会（IAC）において準備・検討を行った。

7) 普及啓発活動

7-1) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化

編集委員会の開催、サイトリニューアル、投稿用テンプレートの導入、編集委員長支

援者の雇用など、Biophysics and Physicobiology 活性化のための取組を実施した。

7-2) 小中高を対象としたセミナー講師派遣

2016年10月より、小学・中学・高校生を対象とした講師派遣サポート事業を開始した。2021年度は、講師派遣2件が行われた。

7-3) 学会ウェブサイトの利便性向上

Information 欄の改定、英語ページの完全英語化、ニュース記事への SNS 投稿用ボタンの設置等を行った。

8) その他

8-1) 学会理事会でのウェブ会議の活用

2015年12月より学会理事会へのウェブ会議システムの活用を始めた。定時社員総会後の理事会および学会年会時の理事会は face-to-face で行っていたが、昨年度に引き続き 2021年度も、新型コロナウイルスの感染予防の観点からすべての理事会をオンラインで行った。また、男女共同参画・若手支援委員会と出版委員会もウェブ会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書の発行（定款第四条第1号関連）																	
2-1-1. 和文誌「生物物理」	<p>・第61巻3号～6号・第62巻1号・2号を刊行した。（A4版・隔月刊） 61巻3号 19記事79ページ 61巻4号 18記事82ページ 61巻5号 19記事79ページ 61巻6号 20記事93ページ 62巻1号 21記事107ページ 62巻2号 16記事62ページ</p> <p>【ダウンロード数（2021年5月～2022年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会PDF版</td> <td>3,230</td> <td>1,181</td> <td>4,411</td> </tr> <tr> <td>J-STAGE版</td> <td>27,525</td> <td>956,083</td> <td>983,608</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30,755</td> <td>957,264</td> <td>988,019</td> </tr> </tbody> </table> <p>・第61巻はSupplement1-1（年会プログラム集：印刷体2,400部）、Supplement1-2（年会 予稿集：電子版のみ）も発行した。</p> <p>・第62巻1号（2022年2月号）よりJ-STAGEにおける公開方法を変更。 [1] PDFのセキュリティ解除 [2] 全文HTML公開の開始 [3] エンバーゴ設定</p> <p>【冊子体購読数】 機関会員：35、購読（書店経由）：45、購読会員：7（内名誉会員3） 上記に加え、賛助会員5、寄贈会員10にも送付した。</p>		今期刊行号	バックナンバー	総計	学会PDF版	3,230	1,181	4,411	J-STAGE版	27,525	956,083	983,608	合計	30,755	957,264	988,019
	今期刊行号	バックナンバー	総計														
学会PDF版	3,230	1,181	4,411														
J-STAGE版	27,525	956,083	983,608														
合計	30,755	957,264	988,019														
2-1-2. 欧文誌「Biophysics and Physicobiology」	<p>Vol.18（2021.5-12） Regular Article 14、Review Article 10、Note 1、Editorial 2、 Commentary and Perspectives 10、Method and Protocol 1、 Special Issue 3</p> <p>Vol.19（2022.1-4） Regular Article 6、Review Article 9、 Commentary and Perspectives 1、Special Issue 1</p> <p>【ダウンロード数（2021年5月～2022年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,334</td> <td>29,210</td> <td>43,544</td> </tr> </tbody> </table>	今期刊行号	バックナンバー	総計	14,334	29,210	43,544										
今期刊行号	バックナンバー	総計															
14,334	29,210	43,544															
2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第2号関連）																	
2-2-1. 年会運営	<p>・以下の年会を開催した。 2021年第59回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：高橋 聡氏（東北大） 日時：2021年11月25日～27日 場所：オンライン</p> <p>・以下の年会の開催準備を行った。 1) 2022年第60回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：金城 政孝氏（北大） 日時：2022年9月28日～30日 場所：函館アリーナ・市民会館</p>																

	<p>2) 2023 年第 61 回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：神取 秀樹 氏（名工大） 日時：2023 年 11 月 14 日～16 日 場所：名古屋国際会議場</p> <p>3) 2024 年第 62 回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：野地 博行 氏（東大） 日時：2024 年 6 月 24 日～28 日 場所：未定</p>
2-2-2. 総会シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> 以下の総会シンポジウムを開催した。 <p>第 6 回会員総会シンポジウム「構造予測開闢」 日時：2021 年 11 月 26 日 12:00～13:00 場所：オンライン 形式：講演</p>
2-2-3. 各種講演会	36 件の協賛・共催・後援を行った。
2-3. 研究及び調査の推進・人材育成（定款第四条第 3 号関連）	
2-3-1. 男女共同参画・若手支援活動	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画・若手支援シンポジウム 以下のシンポジウムを実施した。 「働き方の多様性を考える～After コロナ時代に向けて」 日時：2021 年 11 月 27 日 12:00～13:30（第 59 回年会会期中） 場所：オンライン オーガナイザー：日本生物物理学会男女共同参画・若手支援委員会 形式：講演 第 59 回年会において、キャリア支援説明会として、(株)アカリクから講師を迎え、就職支援活動セミナーを実施した。 若手の会 2021 夏の学校への資金援助（40 万円）を行った。
2-3-2. 男女共同参画学協会連絡会への参画	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画学協会連絡会 運営委員会第 19 期第 3 回、第 20 期第 1 回、第 2 回へ出席した（2021 年 8 月 23 日、2021 年 12 月 13 日、2022 年 3 月 29 日）。 第 19 回男女学協会連絡会シンポジウムに参加、ポスター発表を行った。
2-3-3. サブグループ支援活動	<ul style="list-style-type: none"> サブグループ（8 件）に支援を行った。
2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰（定款第四条第 4 号関連）	
2-4-1. 若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞の選考、授与	<ul style="list-style-type: none"> 第 17 回若手奨励賞の選考を行い、第 59 回年会で授賞した。（受賞者 5 名） 第 6 回若手招待講演賞の選考を行い授賞した。（受賞者 5 名） 第 6 回学生発表賞の選考を行い授賞した。（受賞者 42 名）
2-4-2. Biophysics and Physicobiology 論文賞	<ul style="list-style-type: none"> 第 10 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 7 報の推薦論文について審査した結果、以下の 1 論文を第 10 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞とし、第 59 回年会で授賞した。 Koji Oda, Masahiro Kinoshita "Molecular dynamics analysis to evaluate docking pose prediction" Biophysics and Physicobiology, Vol.12, pp.1-12 (2015) 第 11 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 8 報の推薦論文について、審査を開始した。

2-4-3. Biophysics and Physico-biology Editors' Choice Award	<p>・以下の2報の論文を第8回 Editors' Choice Award 受賞論文とし、第59回年会で授賞した。</p> <p>"Crystalline chitin hydrolase is a burnt-bridge Brownian motor" Akihiko Nakamura, Kei-ichi Okazaki, Tadaomi Furuta, Minoru Sakurai, Jun Ando, Ryota Iino Biophysics and Physicobiology, Vol.17, pp. 51-58 (2020)</p> <p>"Theoretical insights into the DNA repair function of Arabidopsis thaliana cryptochrome-DASH" Ryuma Sato, Yoshiharu Mori, Risa Matsui, Noriaki Okimoto, Junpei Yamamoto, Makoto Tajiri Biophysics and Physicobiology, Vol.17, pp.113-124 (2020)</p>
2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第5号関連)	
2-5-1. 生物科学学会連合への参画	・第23回定例会議(2021年5月27日)、第24回定例会議(2021年12月23日)に出席した。
2-5-2. 他学会との連携	<p>・日本物理学会、日本顕微鏡学会会員の参加発表奨励による連携強化を行った。</p> <p>・第45回日本分子生物学会(2022年11月30日～12月2日)に共催として参画する。</p>
2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第6号関連)	
2-6-1. IUPAB (国際純粋および応用生物物理学連合) 関連	・21st IBC (2024年)の開催準備を行った。
2-6-2. ABA (アジア生物物理学連合) 関連	・第59回日本生物物理学学会年会(2021)において、海外とのジョイント・シンポジウムを3件(インド・オーストラリア・米国)開催した。
2-7. 普及啓発活動	
2-7-1. Biophysics and Physico-biology の国際情報発信力強化	<p>・2021年10月 BPPB 誌面を一新、投稿規定の改定(出版時間と費用の削減)</p> <p>・2021年11月 BPPB ウェブページをリニューアル</p> <p>・2021年12月「大沢流手作り統計力学」の英訳“The Oosawa Lectures on DIY Statistical Mechanics”を Special Issue として出版開始</p>
2-7-2. 小中高を対象としたセミナー講師派遣	2022年4月30日現在の講師登録者数は46名。 2件の派遣授業を行った。
2-7-3. 学会ウェブサイトの利便性向上	<p>・Information 欄を改定</p> <p>・英語ページを完全英語化</p> <p>・各ニュース記事への SNS 投稿用ボタンを設置 ほか</p>
2-7-4. 物理チャレンジ・国際物理オリンピックへの協力	物理チャレンジについて、学会ウェブサイトニュース欄に実施要項を掲載した。 国際物理オリンピック 2023 (日本開催) の団体正会員として登録した。
2-7-5. その他国内・国外の啓発イベントへの参加	「第16回女子中高生のための関西科学塾」の参加者配布用に学会クリアファイル、一家に1枚ポスターを寄贈した。

3. 付属明細

(付属明細1) 処務詳細資料

総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	2021年6月19日（定時社員総会）、2022年1月29日（臨時社員総会）
3-1-2. 会計監査会（開催日）	2021年5月26日
3-1-3. 理事会（開催日）	<p>2021年6月19日、2021年9月18日、2021年11月20日、2022年1月29日、2022年3月26日</p> <p>・上記全ての会議について、ウェブ会議システムを活用した。</p> <p>メール審議</p> <p>2021年5月31日 準会員について定款の変更(19・20理事)</p> <p>2021年6月3日 決算書・事業報告書の承認(19・20理事)</p> <p>2021年8月2日 高校生市民向け「生物物理ワークショップ」後援募集</p> <p>2021年10月9日 IUPAB2021 若手支援プログラム応募者</p> <p>2021年11月4日 BPPB 編集委員任期途中で改選することについて</p> <p>2022年2月11日 函館年会の予算案について</p> <p>2022年2月25日 日本生理学会第60回大会バナーの掲載について</p> <p>2022年4月12日 学会著作物の営利利用における課金に関する審議</p> <p>2022年4月13日 日本生理学会第100回記念大会連携企画シンポジウム共催について</p> <p>2022年4月18日 ヘルツ株式会社が配布するタンパク質構造モデルのキーホルダーに生物物理学のロゴを使用することについて</p> <p>2022年4月18日 ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻に関する声明文について</p> <p>2022年4月22日 学生会員0円を周知するためのウェブサイト変更について</p>
3-1-4. 委員会（開催日）	<ul style="list-style-type: none"> ・出版委員会 2021年6月19日、2021年9月18日、2021年11月20日、2022年1月29日、2022年3月26日 ・男女共同参画若手支援委員会 2021年6月19日、2021年9月18日、2021年11月20日、2022年1月29日、2022年3月26日 <p>(出版委員会、男女共同参画若手支援委員会ともに、2021年11月20日、2022年1月29日、2022年3月26日開催の委員会はウェブ会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会誌編集委員会 2021年7月3日、2021年9月11日、2021年12月18日 ・Biophysics and Physicobiology 編集委員会 2021年12月11日 ・ウェブサイト編集委員会 2021年6月4日、2021年9月16日、2021年11月15日 ・賞選考委員会（メール審議含む） 2021年7月6日 文部科学大臣表彰 2021年8月19日 朝日賞 2021年9月2日 小林賞

	2021年9月15日 内藤記念科学振興賞 2021年9月15日 木原記念財団学術賞 2021年10月6日 東レ科学技術賞 2021年12月3日 藤原賞大賞 2022年2月8日 山田科学研究援助 2022年2月22日 江崎玲於奈賞 2022年3月16日 日本学術振興会賞 上記の各賞に候補者を推薦した。
--	---

契約・入札・他に関する事項

- ・主な新規契約に関する事項（なし）
- ・入札に関する事項（なし）
- ・その他の事項（なし）

（付属明細2）会員の異動状況

会員種別		会員数		増減
		2021年4月30日現在	2022年4月30日現在	
正 会 員	一般会員	1,896	1,849	▲ 47
	学生会員	771	811	40
	シニア会員	65	69	4
名誉会員		20	19	▲ 1
機関会員		38	35	▲ 3
賛助会員		6	5	▲ 1
総計		2,796	2,788	▲ 8

今期の新規入会者数

一般会員 65名（うち、入会キャンペーン利用者 1名）

学生会員 275名

（付属明細3）事務局の現況（2022年4月30日現在）

雇用者なし